

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第1部門第2区分  
【発行日】令和7年5月8日(2025.5.8)

【公開番号】特開2024-87848(P2024-87848A)  
【公開日】令和6年7月2日(2024.7.2)  
【年通号数】公開公報(特許)2024-122  
【出願番号】特願2022-202727(P2022-202727)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 0 3 E

A 6 3 F 5/04 6 0 5 B

A 6 3 F 5/04 6 0 2 C

【手続補正書】

【提出日】令和7年4月25日(2025.4.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技の進行を制御する主制御手段と、

前記主制御手段に接続され、遊技価値数に関する制御を行うメダル数制御手段と、

前記主制御手段に接続され、演出機器を制御する演出制御手段と、を備え、

前記主制御手段は、

異常を検出する異常検出手段と、

30

前記メダル数制御手段から情報を取得可能なメダル数情報取得手段と、

遊技価値の払出数を表示するとともに、前記異常検出手段により異常が検出された場合に該異常に応じたコードを表示可能な払出表示手段と、を有し、

前記演出制御手段には、画像を表示する表示装置、サウンドを出力する出音装置、及び、光を発光させる発光装置が接続され、

前記主制御手段は、前記主制御手段の内部に記憶された固有情報を前記メダル数制御手段に送信し、前記メダル数制御手段は、前記主制御手段から受信した前記固有情報及び前記メダル数制御手段の内部に記憶された固有情報を遊技機の外部に接続された外部機器に送信し、

前記主制御手段は、

40

前記異常検出手段により異常が検出された場合、検出した異常に応じたコードを前記払出表示手段に表示するとともに、当該コードを前記演出制御手段に送信し、

前記メダル数情報取得手段により異常情報を取得した場合、該異常情報を前記演出制御手段に送信し、

前記演出制御手段は、

前記異常情報を受信したことを契機として、前記表示装置に、受信した前記異常情報に応じたメッセージを表示させる異常情報表示手段と、

前記異常情報を受信したことを契機として、前記発光装置に、受信した前記異常情報に応じた発光態様の発光を実行させる異常情報発光手段と、

前記異常情報を受信したことを契機として、前記出音装置に、受信した前記異常情報に応

50

じたサウンドを出音させる異常情報出音手段と、を有し、

前記異常検出手段は、前記主制御手段の書き換え可能な主制御記憶手段に異常が検出された場合、前記主制御記憶手段に記憶された設定値の異常が検出された場合、又は、前記主制御手段が有する乱数値を発生させる乱数回路の異常が検出された場合の主制御異常情報を検出可能であり、

前記演出制御手段は、前記異常検出手段が前記主制御異常情報を検出した状態、又は、異常の検出が無い場合であっても、前記異常情報を受信することなく、特定の条件が成立したことを契機として、前記異常情報表示手段、前記異常情報発光手段及び前記異常情報出音手段による異常の発生を報知する

ことを特徴とする遊技機。

10

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来、エラーが発生した場合に表示装置の画面にエラーを報知する遊技機が提案されている（例えば、特許文献 1 参照）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

20

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【特許文献 1】特開 2 0 2 1 - 1 1 5 3 6 3 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【0 0 0 4】

しかしながら、特許文献 1 の遊技機で提案されているエラー報知の技術では、エラーが発生したことは分かるが、そのエラーがどの構成部で発生したものであるかが分かり難い。また、特に、メダルレス遊技機では、構成部としてメダル数制御部が増えるため、発生したエラーの内容をより分かり易く特定する必要がある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0 0 0 5】

本発明は、このような点に鑑みてなされたものであり、遊技機において、エラーの内容の把握及びエラー発生個所の特定を容易に行うことができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

50

遊技の進行を制御する主制御手段（例えば、後述の主制御基板 7 4 1）と、  
前記主制御手段に接続され、遊技価値数に関する制御を行うメダル数制御手段（例えば、  
後述のメダル数制御基板 7 4 3）と、  
前記主制御手段に接続され、演出機器を制御する演出制御手段（例えば、後述の副制御基  
板 7 4 2）と、を備え、  
前記主制御手段は、  
異常を検出する異常検出手段（例えば、後述のカテゴリ「主制御関連」のエラー検出機  
能）と、  
前記メダル数制御手段から情報を取得可能なメダル数情報取得手段（例えば、後述のカテ  
ゴリ「メダル数制御関連」のエラーの受信機能）と、  
遊技価値の払出数を表示するとともに、前記異常検出手段により異常が検出された場合に  
該異常に応じたコードを表示可能な払出表示手段（例えば、後述の払出表示用の 2 桁の 7  
セグ L E D）と、を有し、  
前記演出制御手段には、画像を表示する表示装置（例えば、後述の表示装置 7 1 3）、サ  
ウンドを出力する出音装置（例えば、後述のスピーカー群 7 7 4）、及び、光を発光させ  
る発光装置（例えば、後述の演出用 L E D 群 7 7 3）が接続され、  
前記主制御手段は、前記主制御手段の内部に記憶された固有情報（例えば、後述の主制御  
チップ個別ナンバー）を前記メダル数制御手段に送信し、前記メダル数制御手段は、前記  
主制御手段から受信した前記固有情報及び前記メダル数制御手段の内部に記憶された固有  
情報（例えば、後述のメダル数制御チップ個別ナンバー）を遊技機の外部に接続された外  
部機器に送信し、  
前記主制御手段は、  
前記異常検出手段により異常が検出された場合、検出した異常に応じたコードを前記払出  
表示手段に表示するとともに、当該コードを前記演出制御手段に送信し、  
前記メダル数情報取得手段により異常情報を取得した場合、該異常情報を前記演出制御手  
段に送信し、  
前記演出制御手段は、  
前記異常情報を受信したことを契機として、前記表示装置に、受信した前記異常情報に応  
じたメッセージを表示させる異常情報表示手段と、  
前記異常情報を受信したことを契機として、前記発光装置に、受信した前記異常情報に応  
じた発光態様の発光を実行させる異常情報発光手段と、  
前記異常情報を受信したことを契機として、前記出音装置に、受信した前記異常情報に応  
じたサウンドを出音させる異常情報出音手段と、を有し、  
前記異常検出手段は、前記主制御手段の書き換え可能な主制御記憶手段に異常が検出され  
た場合、前記主制御記憶手段に記憶された設定値の異常が検出された場合、又は、前記主  
制御手段が有する乱数値を発生させる乱数回路の異常が検出された場合の主制御異常情報  
（後述のカテゴリ「主制御関連」のエラー N o . 1 のエラー）を検出可能であり、  
前記演出制御手段は、前記異常検出手段が前記主制御異常情報を検出した状態、又は、異  
常の検出が無い場合であっても、前記異常情報を受信することなく、特定の条件が成立し  
たことを契機として、前記異常情報表示手段、前記異常情報発光手段及び前記異常情報出  
音手段による異常の発生を報知する

10

20

30

40

ことを特徴とする遊技機。

上記構成の遊技機では、エラーの内容の把握及びエラー発生個所の特定を容易に行うこと  
ができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

50

上記構成の本発明の遊技機によれば、例えば、エラーの内容の把握及びエラー発生個所の特定を容易に行うことができる。

10

20

30

40

50